

社会保障研究所日誌 (昭和58. 4～昭和59. 3)

昭和58. 4. 14 特別研究会開催 報告者：英国ロンドン大学教授 (ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 社会福祉学部長) ロバート・ピンカー氏
報告内容『社会政策とは何か』(健保会館)

4. 18 研究課題Ⅱ 高齢者世帯の家計行動と社会保障に関する研究会 (第1回) 報告内容と報告者「To Work or Not to Work」 米国ブランダイス大学教授 ロバート・エヴァンス

4. 19 定例役員会開催 (第189回)

4. 21 政策研究会 (第1回) 報告内容と報告者「老人保健法について」 堤 修三：前厚生省公衆衛生局老人保健部計画課課長補佐

5. 10 研究課題Ⅲ 医療システムの有効性と効率性に関する研究会 (第1回) 議題「医療保険をめぐる最近の動向および研究のすすめ方について」司会：小山路男・理事, 上智大学教授

5. 17 定例役員会開催 (第190回)

同 社会保障基本問題研究会 (第4回) テーマ及び報告者「貧困と公的扶助の動向」小沼 正 (駒沢大学教授), 「医療保障政策の新局面——高齢化社会の医療保障」地主重美 (千葉大学教授), 「社会福祉改革の戦略的課題——福祉の供給システムを中心に」三浦文夫 (日本社会事業大学教授)

5. 18 研究課題Ⅰ 西欧諸国のソーシャルポリシーとソーシャルポリシー論に関する研究 (第1回) 報告内容と報告者「ソーシャル・ポリシーの経済学——Sleeman, Resources for the Welfare State, Sandford, Social Economics を中心にして」城戸喜子：主任研究員

5. 19 政策研究会 (第2回) 報告内容と報告者「老人福祉サービスの総合システム化のノーマライゼーション——コスト面からのアプローチ」丸尾直美：中央大学教授

5. 23 課題Ⅱ研究会 (第2回) 報告内容と報告者「厚生年金の収入制限と高齢者の就業行動」清家 篤：慶応義塾大学助手

6. 7 課題Ⅲ研究会 (第2回) 報告内容と報告者「医療費対策への経済的要請と医療の質の確保につい

て」藤崎清道：厚生省薬務局生物製剤課課長補佐

6. 21 定例役員会開催 (第191回)

同 機関誌編集委員会開催 (東海クラブ会議室)

6. 23 課題Ⅲ研究会 (第3回) 報告内容と報告者「高齢者の入院費用の高低に関する分析」前田信雄：国立公衆衛生院社会保障室長

6. 27 課題Ⅱ研究会 (第3回) 報告内容と報告者「女子高齢者の就業パターン」三上芙美子：研究員

6. 30 課題Ⅰ研究会 (第2回) 報告内容と報告者「ボランティアオーガニゼーションの国際比較——クレーマーをめぐる」高橋紘士：研究員

7. 5 政策研究会 (第3回) 報告内容と報告者「医療法の改正について」薄井康紀：厚生省医務局総務課課長補佐

7. 12 定例役員会 (第192回) 及び参与会開催 (赤坂栄林)

7. 14 政策研究会 (第4回) 報告内容と報告者「第3回社会指標について (経済企画庁) ——昭和56年社会指標試算」川名英子：経済企画庁国民生活局省資源・省エネルギー生活推進室長

7. 28 課題Ⅲ研究会 (第3回) 報告内容と報告者「地域における医療機能のシステム化」西 三郎：国立公衆衛生院衛生行政学部長

8. 26 総務部長 新飯田 昇の辞職を発令, 後任に伊原正躬 (前厚生省大臣官房政策課課長補佐) を発令

9. 13 定例役員会開催 (第193回)

9. 27 公開研究報告会 (第22回) 開催 テーマ「社会福祉の将来展望」レポートⅠ 社会福祉ニードの将来予測 高橋紘士 (社会保障研究所研究員), レポートⅡ 社会福祉財政の展望と課題 坂田周一 (長野大学講師), レポートⅢ 社会福祉施設体系とマンパワー・ポリシーの将来構想 三浦文夫 (日本社会事業大学教授), 司会 福武 直 (社会保障研究所長)

10. 11 定例役員会開催 (第194回)

10. 14 社会保障基本問題研究会 (第5回) テーマ及び報告者「人口変動と社会保障」安川正彬 (慶応義塾大学教授), 「家族の変化と社会保障」森岡清美 (成城大学教授), 「世代間の協力関係と社会保障」青井和夫 (津田塾大学教授)

10. 20 政策研究会 (第5回) 報告内容と報告者「高齢化社会の課題——スウェーデンと日本の比較——」龍円恵喜二 (前ウプサラ大学講師)

10. 24 課題Ⅱ研究会 (第5回) 報告内容と報告者「高

齢者世帯の消費行動」三上美英子：研究員

10.25～28 社会保障研究所基礎講座（第19回）開催（日本女子会館）

11. 1 課題Ⅲ研究会（第6回）報告内容と報告者「都市における医療資源の集積特性について」無漏田芳信：東京工業大学工学部建築計画科

11. 8 定例役員会開催（第195回）

11.17 社会保障基本問題研究会（第6回）テーマ及び報告者「経済の変動と社会保障」宮崎 勇（大和証券経済研究所理事長）、「財政と社会保障」野口悠紀雄（一橋大学教授）、「高齢者の生活と就業・年金」西川俊作（慶応義塾大学教授）

11.24 政策研究会（第6回）報告内容と報告者「医療保険の改革案について」和田 勝：厚生省保険局企画課課長補佐

11.28 課題Ⅱ研究会（第6回）報告内容と報告者「被保護高齢者世帯の家計費——厚生省被保護者生活実態調査等による」曾原利満：主任研究員

11.29 課題Ⅲ研究会（第7回）報告内容と報告者「国民医療費の構造とフロー分析」中村文子：健康保険組合連合会囑託

11.30 課題Ⅰ研究会（第3回）報告内容と報告者「西ドイツにおける福祉サービスと分権的多元主義」栃本一三郎：研究員

12. 6 合同役員会（第196回）開催

12.19 課題Ⅱ研究会（第7回）報告内容と報告者「定年後の生活変革——定年退職者夫婦調査結果より」柚井孝子：お茶の水女子大学助教授

12.22 課題Ⅲ研究会（第8回）報告内容と報告者「医療に対する価格コントロールについて——フェルドシュタインとアローの論文を中心に——」藤井良治：千葉大学助教授

12.26 課題Ⅰ研究会（第4回）報告内容と報告者「“新社会問題”の福祉国家批判——新自由主義の立場から」大谷津晴夫：南山大学講師

昭和59.1.17 課題Ⅲ研究会（第9回）報告内容と報告者「ヘルス・マンパワーに対する requirements の予測について」都村敦子：主任研究員

同 定例役員会（第197回）及び合同委員会開催

1.26 政策研究会（第7回）報告内容と報告者「スウェーデンにおける医療に関する苦情処理制度につい

て」小原亜生：東京都福祉局総務部調査課研究主査

1.30 課題Ⅱ研究会（第8回）報告内容と報告者「高齢期の消費支出について」宇野正道：研究員

1.31 課題Ⅰ研究会（第5回）報告内容と報告者「国家責任の限界——ウィールの『政治理論と社会政策』をめぐる——」武川正吾：研究員

2. 7 定例役員会開催（第198回）

同 第18回社会保障研究所シンポジウム開催、テーマ「社会保障をめぐる公私の役割」レポート：大阪府立大学教授 大野吉輝（成熟社会における社会福祉と自己負担）、社会保障研究所主任研究員 堀 勝洋（私的扶養としての社会保障の役割）、コメント：専修大学教授 正村公宏、東京都立大学助教授 小林良二 司会：社会保障研究所長 福武 直

2.14 課題Ⅲ研究会（第10回）報告内容と報告者「医療の技術進歩と医療費増加」二木 立：代々木病院医師

2.28 課題Ⅰ研究会（第6回）報告内容と報告者「イギリスにおけるソーシャルポリシー論の研究動向」平岡公一：研究員

3.15 課題Ⅲ研究会（第11回）報告内容と報告者「医療のシステム化の現状と問題点」西 三郎：国立公衆衛生院衛生行政学部長

同 政策研究会（第8回）報告内容と報告者「年金制度改革案について」浅野史郎：厚生省年金局企画課課長補佐

3.16 定例役員会開催（第199回）

3.22 課題Ⅰ研究会（第7回）報告内容と報告者「イギリスにおける貧困対策の現状について——“A. Deacon, Reserved for the Poor”」栃本一三郎：研究員

3.23 社会保障基本問題研究会（第7回）主題『経済社会の変動と社会保障』テーマ及び報告者「政治の変動と社会保障」西尾 勝（東京大学教授）、「生存環境の変化と社会保障」江見康一（一橋大学教授）、「経営効率促進と社会保障」庭田範秋（慶応義塾大学教授）

3.26 課題Ⅱ研究会（第9回）報告内容及び司会者「本年度研究成果のまとめ」西川俊作：慶応義塾大学教授

3.31 調査部長 平石長久の辞職を発令